

【別紙】平成30年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立根岸小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	・進んで学習する子 ・仲よく助けあう子 ・明るくじょうぶな子 ・最後までやりぬく子
目指す学校像	『笑顔あふれる元気な根岸小 ～みんなが(自主) みんなで(協働) みんなも(挑戦) みんなのために(貢献)～』

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (平成 年 月 日 現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育目標や目指す学校像の具現化に向け、全教職員が意欲的に取り組んでいる。 ○「凡事徹底」「4つのワーク」に基づき、目に見える成果が改善していることとする姿勢が育ってきている。 ○全体の共通理解を図り、一人一人が組織の一員としての自覚を持つつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①明確な目標設定と共通理解を図り、共通行動、協働体制を構築する。 ②議題計画に基づく、効率的かつ創造的な運営委員会と職員会議を工夫、改善する。 ③各学年主任、分掌主任との連絡・相談・確認を丁寧に行い、学校運営への参画意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 学年、各種委員会、各部会等において、各主任を中心とした組織としての取組を重視する。 ② 各事業をスリム化し、CAPDサイクルを意識し、職員のアイデアを大切に工夫改善を図る。 ③ 縦、横の連携を重視し、報告、連絡、相談、確認を徹底する。 			
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の趣旨を踏まえて、教育活動を日々推進している。 ▼一時間一時間のねらいを明確にし、基礎学力の定着・向上をより一層図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習意欲を高め、基礎的・基本的な学力や体力の定着を目指し、授業の質の向上を図る。 ②落ち着いた学習環境を整えるため、教員の学級経営力・生徒指導力の向上を図る。 ③ねらいを明確にした授業の工夫・改善、教育課程の評価・改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各教科等で言語能力の育成や学習活動の工夫など指導法の改善を図る。 ①③ 思考力・判断力・表現力等の育成を軸に基礎基本の確実な定着を図る。 ② 学びのもととなる学習規律の定着、温かく潤いのある人間関係の醸成を図る。 			
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○校地内の自然環境の整備等において、積極的に地域の力が生かされている。 ○家庭、地域の人材、教育力を学校教育活動に結びつけられてきている。 ▼学校と家庭・地域の双方向の情報交換、共有が更に必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭・地域との連携を深め、日常の学習や行事等において家庭・地域の教育力を指導計画に位置付け、学校教育活動に一層生かしていく。 ②学校によさや取組等を学校ホームページ等を活用し効果的に発信するとともに、家庭・地域の声を教育活動に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 安心安全、学習支援、環境整備の各領域で学校応援団の充実を図る。 ① 各教育活動の中で、地域人材の活用を計画的・効果的に実践していく。また、地域に向いた活動を積極的に位置づける。 ② 校長講話の配布や定期的なホームページの更新等を通して、よりよい教育情報、学校情報を効果的に提供していく。 			
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・学年・学級の取組に意欲的な教職員が多い。 ▼一人一人が校内研修等を通して、指導力に努めているが、まだ十分ではない。 ▼保護者、地域に信頼される教職員を目指し、教育公務員としての高い倫理意識の維持が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「根岸小 目指す教師像」を示し、育成計画に基づき、指導力の向上、学び合い、高め合いができる職場環境づくりを行う。 ②学習規律の確立と温かい人間関係を基盤にし、指導目標と指導法、評価の一貫性を大切にした授業づくりに取り組みさせる。 ③教職員の倫理意識の維持、高揚を一層図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 算教科を中心に、知・徳・体のバランスのよい授業実践、教育活動の深化、充実を図る。 ① 若手とベテランの連携を密にし、学級経営力や生徒指導力を相互に高め合える環境を整える。 ② 教職員の倫理意識を啓発し、教職員事故防止を図るため、各種事例等の情報提供や全体研修会を行う。 			
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ▼開校から47年目を迎え施設・設備においてかなり老朽化(特に、水関係)している部分が多く、改善や修理の必要な箇所も多い。 ○自然豊かで潤いのある環境であるが、児童にとって学習効果上がる教育環境の整備が一層必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①複数の目での確認・見届け体制による事故防止の周知徹底を図る。 ②管理職による定期的な点検、優先順位を考慮した修繕等の対応を適切に実施する。 ③設備・備品の整理・管理の徹底と有効活用へ向けた工夫・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①② 児童の安全を第一に、定期及び意図的な巡回点検を実施し、危険箇所の早期対応と事故防止を図る。 ② 安全確保における予算運用は迅速かつ積極的にを行う。 ② 校内の各種掲示物等の充実を一層図り児童にとって学習効果が上がる教育環境を整える。 ② 豊かな自然環境を生かした教育活動を重視し、花と緑、生き物等に囲まれた学校づくりを推進する。 			

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	